

Science Lecture

見えないものが見えてくる！見えかけたはずが、見失う。 ワクワク オヤオヤ フムフムするのが科学です。

科学には、技術革新を生み出す力があります。素朴な探究心を満たす力もあります。北海道大学創成研究機構は、科学の面白さと奥深さをより多くの人たちとわかちあうために、読売新聞北海道支社と協定を交わし「サイエンスレクチャー」を開講しています。2019年度の第一回目は、感染症の要因の解明と流行防止のための研究をしている人獣共通感染症リサーチセンターが担当します。夏休みのキャンプの大敵、虫刺され……。その虫、かゆいだけではなく危険な病原体を運んでいるかもしれません。吸血する蚊やマダニをスマホ顕微鏡などで観察しながら、ウイルスや寄生虫による感染症について学びましょう。

北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター センター長 鈴木 定彦

大場 靖子 (おおば やすこ)

北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門 講師
北海道大学大学院医学研究科博士課程修了・博士(医学)。
アフリカなどで蚊を採集し、ウイルスハンティングをしている。



林田 京子 (はやしだ きょうこ)

北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際協力教育部門 特任助教
北海道大学大学院獣医学研究科修了・博士(獣医学)。原虫病の分子生物学、疫学調査を専門とする。アフリカをフィールドに、途上国の医療現場でも使用可能な高感度分子診断法の開発を行っている。



江下 優樹 (えした ゆうき)

北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 招へい教員・客員教授
玉川大学農学部卒、医学博士。帝京大学・久留米大学・大分大学医学部で衛生昆虫学と寄生虫学の教育・研究に従事。蚊の生物学、蚊が起こす感染症、現在は蚊とウイルスの相互関係を研究する、蚊学者(ぶんがくしゃ)。

